



平成 30 年 7 月 26 日
佐賀大学理工学部

循環物質化学専攻大学院生 3 名が化学関連支部合同九州大会
生物化学・農芸化学分野，物理化学分野，化学工学分野にて
優秀発表賞等を受賞

【概要】

平成 30 年 6 月 30 日に，第 55 回化学関連支部合同九州大会が北九州国際会議場で開催され，循環物質化学専攻博士前期課程の 3 名の大学院生が生物化学・農芸化学分野，物理化学分野，化学工学分野で優秀発表賞をはじめ各賞を受賞しました。

【本文】

第 55 回化学関連支部合同九州大会が平成 30 年 6 月 30 日（土）に北九州国際会議場で開催されました。この大会は化学関連 8 学協会（高分子学会，繊維学会，日本農芸化学会，化学工学会，日本化学会，有機合成化学協会，電気化学会，日本分析化学会）の九州支部等の共催により毎年度開催される学会です。九州各県ならびに山口県の大学や高専から多数の研究者が最新の研究成果を発信する九州最大規模の学会であり，厳正な審査のもとで，優れた研究発表を行った学生を各学会支部が表彰しています。

このたび生物化学・農芸化学分野，物理化学分野，化学工学分野において，下記 3 名の循環物質化学専攻博士前期課程学生が受賞しました。おめでとうございます。

○優秀発表賞（日本農芸化学会西日本支部）

循環物質化学専攻 博士前期課程 1 年 高木 伸太郎 君

題 目：ホルミルペプチド受容体の第 4 膜貫通ドメインの合成と生物活性評価

発表者：高木伸太郎・古賀裕也・長田聡史・兒玉浩明

○優秀研究者奨励賞（日本化学会九州支部）

循環物質化学専攻博士前期課程 2 年 光武 祐希 君

題 目：Langmuir 法を用いた非対称性リポソーム調製法の確立と制御

発表者：光武祐希・大石祐司・成田貴行

○優秀ポスター賞（化学工学会九州支部）

循環物質化学専攻博士前期課程 1 年 瀧脇 菜子 さん

題 目：新規三脚状抽出試薬によるアルミニウム族金属の抽出分離

発表者：瀧脇菜子・森貞真太郎・川喜多英孝・大渡啓介

